

事業名	出雲中心市街地賑わい創出事業
実施主体	中心市街地まちづくり協議会
県担当課	経営支援課

事業の成果

事業の目的 [地域づくり]

- 中心市街地において、賑わいを創出し、活性化を図っていくことを目指し、官民が一体となって取り組むための体制づくりを働きかける。
- 官民一体となったまちづくりの議論や事業展開を通して、中心市街地活性化の起爆剤となることを目的とする。

事業の内容

- いきいき・楽しくまちづくりフォーラムを開催し、講演会やまちづくり座談会を行った。いきいき・楽しくまちづくりに参加するためのヒントをご紹介いただいた。
- PR活動(チラシ・ポスター作成等)を実施した。

平成17年度「住民との協働によるまちづくり事業」

## いきいき・楽しく まちづくりフォーラム

中心市街地を中心に、空洞化や高齢化が進み、「まち」には何となく元気がなくなってきました。そんな「まち」をかつてのような「いきいきと楽しく暮らせるまち」にしたいと考えています。そのために、みなんでどうしたらよいか考え、取り組んでいきませんか？

**1月21日(土)**  
午前10:00~12:00  
パルミエール出雲4Fホール

**プログラム1 まち育て幻燈会**

まちづくりで大切なこと、いきいきと楽しく参加するためのヒントを紹介します。

講師：延藤 安弘 (NPO法人まちの緑育くみ隊・代表理事)  
http://www.engawa.ne.jp

1940年生まれ。熊本大学教授、名城大学教授、千葉大学工学部都市環境システム学科教授を経て、2003年4月からNPO法人まちの緑育くみ隊・代表理事。鳥取県地域づくりアドバイザー。京都のコーポラティブ住宅ユースコート、熊本のもやい住宅Mボート、神戸の真野地区まちづくり・千葉・高知・北海道・名古屋圏等のまち育て等、全国各地の住民主体の住まい・まち育てにかかわっている。「コミュニティーを生成するハウジングに関する一途」の研究で1990年日本建築学会賞受賞。「まち育て」を育む一対話と協働のデザイン」で2001年国土都市計画学会賞受賞。

**プログラム2 まちづくり座談会**

近隣でユニークなまちづくりに取り組んでいる人々といっしょに、「住民主体のまちづくり」や「協働のまちづくり」について、話し合います。

- 木 綿 街 道 : 出雲市平田町
- 天神町商店街 : 松江市天神町
- 田園プロジェクト : 鳥取県米子市
- まちづくり応援団 : 出雲市今市町

座談会コーディネーター：井ノ上知子 (NPO法人まつえまちづくり塾)  
http://mjuku.hp.infoseek.co.jp

※NPO法人まつえまちづくり塾：「まちをもっともっと楽しみたい」という理念のもと、まちづくりの専門家・協働地域を通して、住民主体のまちづくりに取り組んでいる。  
・松江まなびマップ「協働まちづくり」の推進  
・田原荘協働まちづくりプロジェクト  
・三原・長田協働まちづくりワークショップ 等

主催：中心市街地まちづくり協議会・まちづくり応援団 後援：出雲市

目的の達成状況 [不十分であった]

- 官民一体となった取り組みの体制づくりを働きかける目的であったが、住民主体のまちづくりの大切さを知るきっかけづくりになったものの、すぐには事業の効果が明確にならない。
- 官民一体というレベルまで到達するためには、イベントの実施等だけでなく、今回のような座談会を今後も開催する必要がある。

**反省点・改善点**

- 参加しやすい時間として、2時間を設定。事例もできるだけ多いほうが良いと複数にした。
- さまざまな事例を聞くことは大変有意義であったが、反面盛りだくさんで、消化不良の感があった。
- 特に座談会の内容をより充実したものにするためには、講演会と分けて開催した方が良かった。

協働の効果

**県との協働内容** [ 協働しなかった ]

- 事業開催にあたり、話し合いは何度か行ったが、特に役割を求めたり連携する内容はなかった。

**県との協働効果** [ 概ね効果があった ]

- たくさんの行政関係者に参加していただいた。

**県への要望事項** [ 特にない ]

**反省点・改善点**

- フォーラム開催について、会員の意見がまとまらず、開催時期がどんどん遅れてしまった。
- 会のあり方を検討する中で、本音で語り合う場が何度もあった。会員同士が本音で語る場を持つことは非常に有意義であったが、リーダーとなる人材が必要であると痛感。今後、リーダー育成も視野に入れた活動を展開したい。

**市町村との協働** [ 協働しなかった ]

- 参加の案内をただけである。日頃から活動について意見交換し連携をとっているため。

事業の継続

**事業成果の活用** [ その他 ]

- 近隣の取り組みを聞き、もっと詳しくいろいろな話し合いがしたいとの要望が出た。
- 今後の活動の中に、イベント開催だけではなく、今回のパネラーをゲストに迎え意見交換をしたいと考えている。
- フォーラムをきっかけにできたつながりを大切にしたい。

**事業の継続状況** [ 助成を受けて継続実施している ]

- 活動資金は、イベント開催による収益以外ない。収益は、屋台等の出店によるもので、1品が200～300円。少額の収益にしかならない。テント等の借用費等支出の方が大きくなる。
- 今年度から会費の徴収を決めたが、事業費のマイナスを補うほどにはならない。
- 市からの助成があるから活動展開ができています。

**協働による発展** [ 協働により発展できる ]

- 情報交換しながら、連携して協働のまちづくりに取り組んでいきたい。

